

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	感染症拡大と緊急事態下における市民活動連携及びBCP提案事業
2 事業実施期間	令和2年 7月 ~ 令和3年 2月
3 事業目的	<p>①事業計画に至る背景（コロナ禍における現状と課題）</p> <p>コロナ禍において、那覇市内外においてマスクなど物品の寄付や生活困窮者支援、また資金造成などの様々な市民活動（個人・有志団体・法人などによる）が行われた。その中には、需要にマッチした事業もあれば、<u>受取などを拒否されたケース</u>、呼びかけ団体が対応に追われ本来業務に支障をきたしたケースなどが散見された。また、行政や関係機関との協働などについても、<u>成功度はまちまち</u>である。</p> <p>現在は、OIST財団やSave Okinawa Project、アマビエプロジェクトなどの多分野における活動主体をまとめた連絡・情報交換会である「<u>沖縄コロナゆいまーる同盟</u>」が結成されている。</p> <p>②事業を行う必要性（ニーズ）</p> <p>すでに活動をはじめている市民の中には、中長期での活動や、第二波、第三波をにらんだ活動を継続する方々もいる。その際に今回の第一波の教訓を活かし、より効率的で負担の少ない活動を行うための準備を行う必要がある。そのためには、一旦事態が落ち着いている時期に、第一波におけるそれぞれの経験と教訓をまとめ、次の事態をよりスマートに乗り越える必要がある。各団体や有志は通常の業務などに戻りつつあり、自らの事業の振り返りにかける時間や、専門的な分析などはできない状態であるため、聞き取りを行う作業および考察を行い、文章にまとめ、かつ次回への提案を行う主体及び災害時の<u>ボランティアセンター</u>等の運営経験のある専門家の助言等が必要とされている。</p>

	<p>③市民や地域の公益性（社会貢献度）</p> <p>市民にとっては、有志・団体などがより無理なく・効率よく活動を継続し、第二波、第三波においても必要な活動を続けられることにより、その利益を受けることができる。</p> <p>有志・団体などにおいては、余計な負担や労力を避け、必要以上に疲弊することなく活動を行うことができる。</p> <p>行政では手が届かない細やかな地域レベルの「共助」は、自然災害時だけではなく、このような緊急事態下でも重要であり、地域への公益が十分にあるものと考えている。行政にとっても、市民の動きを知ることにより、さらなる協働の可能性を探る筋道となる。</p>
<p>4 事業内容</p>	<p>①具体的な実施内容（対象者や実施場所、何をいつ実施したかなど）</p> <p>【インタビュー調査】</p> <p>期間：2020年8月20日～1月21日</p> <p>対象：コロナ禍の様々な支援を行ったプロジェクト 11団体</p> <p>①コロナ支援を行った既存団体のプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OIST財団 1 ・おきなわ Likes 2 ・CODE for OKINAWA 3 ・しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄 4 ・NPO法人まちなか研究所わくわく 5 <p>②既存団体での支援活動の後、独立したプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生支援（多文化ネットワーク fuふ！沖縄） 6 <p>③コロナ禍において立ち上がったプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄アマビエプロジェクト 7 ・沖縄やーぐまいプロジェクト 8 ・Save Okinawa Project 9 ・ゆいマスクプロジェクト※文書回答 10 ・沖縄コロナゆいまーる同盟 11 <p>方法：インタビュー（オンライン会議ツール ZOOM を使用して実施）</p> <p>調査項目：活動内容や目的、成果、困ったこと、気づき等</p>

	<p>【アンケート調査】</p> <p>期間：2020年12月3日～12月14日 対象：ゆいまーる同盟参加プロジェクト 方法：Google フォームを使用したアンケート 調査項目：ゆいまーる同盟加入の目的や加入して良かった事 ハブ機能を持つネットワークに関すること等</p> <p>②事業の周知方法 直接の働きかけ及び既存 SNS での周知とともに、事業やインタビューの概要をラジオ番組「Okinawa B-camp!」にて報告した。</p> <p>③コロナウイルス感染症対策（感染拡大防止に対する対応） 基本的にインタビューやミーティングはオンライン会議ツール（ZOOM）を使用、アンケートは Google フォームを活用するなど、対面での活動を控えた。</p>
<p>5 事業効果・ 今後の展開</p>	<p>①期待される効果</p> <p>第一波の際には、社会的なショックも大きかったため、コロナ支援活動に対する社会の反応も大きく、多くの支援や注目を集めたと考えられる。しかし、第二波、第三波の際には、社会的関心や経済的余裕も少しずつ減少すると考えられる。その状況を見越して、活動の方法をより効果的・効率的にしておくことで、今ある資源を最大限に活かすとともに、有志・団体の労力も最小限に抑えることができ、持続可能な活動へつながると考える。また、次に起こる可能性のある事態に対しても、先回りして対策を講じることができる。</p> <p>また、これらの知見が他地域や類似事業を行う主体の参考になることも十分に考えられる。全く新しい経験だからこそ、経験を積み上げて、次に活かしていくことが重要である。</p> <p>②次年度以降の展開について</p> <p>今回の事業はコロナ禍における、コロナ支援プロジェクトを対象としたものであるが、同様の教訓を活用できる他の市民活動あるいは防災活動やボランティア連携及び市民と行政の協働についても検討し、実践に活かしていく。</p>

<p>6 その他反省点など</p>	<p>【課題や反省点】</p> <p>今回の調査対象者は、コロナ第一波時の活動がメインであり、調査報告書作成段階では既に恒常的な活動が終了している団体が少なくなかった。したがって、追加調査や調査報告書の内容確認等がスムーズにいかないことがあり、スケジュールに余裕を持った対応やフォローが必要だった。</p> <p>また、<u>行政との協働</u>として、<u>コロナ禍における市民との協働事例</u>について聞き取りを実施できなかった点は悔やまれる。今後は作成した調査報告書を活用し、<u>行政と市民活動との橋渡し</u>をしていきたい。</p> <p>【気づき】</p> <p>事業に関する活動をほぼオンラインで実施できた。オンラインで事業を進めることができた要因としては、以下の点が考えられる。</p> <p><事業全体に関して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業に携わっているメンバーは、事業実施以前から団体内外の活動を通して信頼関係が築かれていた ・定例ミーティングを実施したり、随時進捗報告を Messenger にて共有するなど、コミュニケーションを欠かさなかった <p><インタビュー実施に関して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の多くが加盟している<u>沖縄コロナゆいまーる同盟</u>のオンライン定例ミーティングに参加し、事前に信頼関係の構築ができた ・事業メンバーの既存のつながりを最大限に活かして、対象者を決定した <p>加えて、Zoomを使用したインタビューの実施は、オフラインの実施に比べて音声や録画データの記録がし易いというメリットもあった。したがって、<u>すでに関係が構築できている</u>対象者へのオンラインインタビューは有効な手段だと気づくことができた。</p>
-------------------	--

7 スケジュール	時期	内容（場所・参加対象・人数など）
（なるべく詳細に記入してください。）	7～8月中旬	【インタビュー調査準備】 調査票の作成や調査依頼を行ったさらに、今回の調査対象者が多く参加している「沖縄コロナゆいまーる同盟」の定例ミーティングに参加し、インタビュー前から信頼関係を築いた
	8月下旬～9月中旬	【インタビュー調査の実施】 コロナ禍の様々な支援を目的に立ち上がったプロジェクトへインタビューを実施 <対象者> 計 9 団体：沖縄アマビエプロジェクト、おきなわ Likes プロジェクト、沖縄やーぐまいプロジェクト、CODE for OKINAWA、しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄、Save Okinawa Project、多文化ネットワーク f u ふ！沖縄、NPO 法人まちなか研究所わくわく、ゆいマスクプロジェクト ※すべてオンラインにて実施
	9月中旬	【事業周知】 事業やインタビューの概要をラジオ番組「Okinawa B-camp!」にて報告
	9月下旬～11月	【インタビュー調査の整理】 インタビューの文字起こしや内容まとめ
	11月	【事業の中間振り返り】 中間報告書をなは市民活動支援センターへ提出
	11月～1月	【追加調査】 沖縄コロナゆいまーる同盟参加者へのインタビュー及びアンケートを実施 また、OIST 財団へのインタビューも行った

	12月～2月	【調査報告書の作成】 調査内容の専門家レビュー会を2度実施し、調査報告書を作成
	2月	【報告書提出】 なは市民活動支援センターへ提出
	3月	【成果発表会】 なは市民活動支援センターにて5人参加予定
<p>8 事業実施に関する支援団体の有無（該当する箇所に☑等を記入してください。）</p> <p> <input type="checkbox"/> 行政との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 企画に協力 <input type="checkbox"/> 資金提供 <input checked="" type="checkbox"/> 告知などの協力 <input type="checkbox"/> 無し </p> <p>協働の内容</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄コロナゆいまーる同盟 各プロジェクトの活動のインタビューやアンケート協力、調査の周知等 ・ 災害プラットフォームおきなわ ラジオ出演や所属メンバーによる周知、専門知識の提供等 } </p>		